

REPORT [レポート]

第19回食育推進 全国大会に 参加しました!

…会場では、全私保連保育運動・7つのメッセージ
⑥「みんなで食べると美味しいんです」を伝えました

毎年、6月の食育月間に合わせて開催される食育推進全国大会（主催・農林水産省他）が、今年は大阪・関西万博プレイベント「命輝くミライ食育 ワクワク EXPO with 第19回食育推進全国大会」として、6月1日・2日、大阪南港ATCホールと6階会議室で盛大に開催されました。参加団体、ブース数は200近く、来場見込み数約25,000人でしたが、両日とも開場前から長蛇の列ができ、1日目13,000人、2日目17,000人、計30,000人と、大幅に目標人数を超えたとのことでした。

1日目の開会式には吉村大阪府知事、横山大阪市長が、万博と食い倒れのまちをアピール、お二人で朝食クッキングショーを行うなど、楽しいひと時を提供されました。午後からは、さかなクンによるトークイベントがあり、さかなクンコスチューム（白い服に魚デザインの帽子）の子が散見されるなどすごい人気で、一斉に来場者が舞台に集まり、各ブースがしばし開店休業状態となるほどでした。

各ブースでは、こども家庭庁、文科省、消費者庁などの中央省庁をはじめとする行政機関、大阪の市町、関係団体、栄養士・調理師養成学校、食材関係の企業等が、さまざまな工夫を凝らし、食育の取り組みを紹介していました。食品サンプルなどの配布や試食コーナーもあり、来場者は、一周りすると頭もお腹も満たされるブース巡りを楽しんでいました。

全私保連のブースは運動推進会議と事務局が中心となり、7つのメッセージのチラシ、付箋の配布や、会議メンバーの園の給食や食育の取り組みの展示、遊びコー

ナー、ダンス動画上映等、大会コンセプトの一つ「食べる喜びをつなごう」と7つのメッセージの一つ「みんなで食べると美味しいんです」を絡めたブース提供を行いました。ブース担当者は保育運動メッセージTシャツを着用し、担当ブースだけでなく他のブースへもチラシ持参で出かけ、7つのメッセージを説明したり、運動推進の名刺を配るなど、精力的に情宣に努めました。

展示は、秋田県はやまばと保育園、愛知県の希望が丘こども園、希望が丘第二こども園、鹿島こども園、童浦こども園、岡山県の操南保育園、広島県の順正寺こども園、大分県のすみれこども園と、北から南まで8園がそれぞれの園での給食と食育の取り組みや、メニューカードなどを展示しました。地元のおいしい食材にも地域性があり、各園の立地を生かした取り組みを、保育施設関係者以外にも知っていただく機会となりました。

遊びコーナーは、兵庫県の明光保育園が地域の高齢者クラブから寄贈された「リアルな魚たちの魚釣り」を提供、子どもの遊びの受け皿となりました。近くのUSJで魔法使いを演じているという、スコットランド籍の男性が訪れ、「日本おいしい」。子どもを遊ばせながら、展示を見ての質問や、家で食べないので困っているといった子育て相談などに、応援に駆けつけていただいた大阪市私保連の先生方も一緒に対応いただきました。感謝申し上げます。

ダンス動画上映は、ケロポンズとコラボして作成した「ちきゅうのこども」を運動推進会議メンバーの園の保護者、職員、地域、児童がダンスを楽しんでいる映像を終日流しました。「この曲、知っています。子どもの園の運動会でダンスをしました」という声があり、少しずつですがメッセージの浸透が実感でき、勇気づけられました。

2025年は6月7日～8日、徳島県で第20回大会の開催が決まっています。お楽しみに！

(川本まり子／全私保連保育運動推進会議)



こども まんなか

全私保連は、
「こどもまんなか応援サポーター」
宣言を行いました。

